



詳細・申込は
こちらから

BEBERICA theatre company

あかちゃんとおとなのための

ベビージョー シアター

あかちゃんよろこび舞おう、このせかいの美しさ

羽衣

～なぜ、天女に羽衣を返したのだろうか～

穏やかな春の朝、三保の松原の漁師・白竜は海岸の松の木に掛かる、美しい羽衣を見つける。

羽衣を持ち帰ろうと手にした瞬間、「それは私のです」と、現れる天女。

天女は白竜に羽衣を返すように懇願するが...

日本中に広がる天女伝説を基に、世阿弥が室町時代に書いた能の名曲が、あかちゃんと一緒に体感する舞台芸術〈ベビージョーシアター〉として舞い降りる。

令和7(2025)年

1/30 木 31 金 2/1 土

1/30 11:00～ A 14:00～ A

1/31 11:00～ A 15:00～ B

2/1 11:00～ A 14:00～ B

A 0歳2ヶ月～1歳6ヶ月対象

B 1歳7ヶ月～2歳12ヶ月対象

※月齢は目安です

茨木市市民総合センター(クリエイトセンター)2階・多目的ホール

あかちゃんとおとなのための

ベビーシアター 能

能とは？

室町時代に成立した、日本が世界に誇る伝統芸能。ユネスコの世界無形文化遺産にも登録されています。面や美しい装束をつけ、鼓や笛の演奏と共に歌い舞う劇です。通常は能楽堂などの専用の能舞台上で上演されています。



2022年度上演
ベビーシアター『Iye-イエ-』より
photo:haruhiro sako

BEBERICA theatre company

「あかちゃんと一緒にせかいをつくる」をテーマに、乳幼児とおとなに向けたパフォーマンスを制作するシアターカンパニー。2016年、弓井茉那を中心に結成。2018年からは京都を拠点に活動する。これまでに、世田谷パブリックシアター、吉祥寺シアター、茨木クリエイトセンター、いわき芸術文化交流館アリオス、金沢21世紀美術館の主催プログラムにて演劇作品の上演やワークショップを実施。2020年城崎国際アートセンターのレジデンスプログラムにて「第1回アジアベビーシアターミーティング」を主催するなど、ベビーシアターの普及・啓発の活動にも力を入れている。茨木クリエイトセンターでの上演は、2019年「物語を旅する～お空のせかい、海の中のせかい～」、2021年「ミクロコスモス」、2022年保育士とつくる「What's Heaven Like?」、2023年「Iye-イエ-」、2023年「オルフェ」以来6作品目となる。

注意事項

- 対象月齢は目安です。
- 対象月齢のお子様複数でご参加の場合、年長のお子様に合わせたプログラムにご参加ください。(対象月齢を超えるお子様のご参加はご遠慮ください)
- 本作品は体験型の公演です。上演中、パフォーマーが観客に触れる場合があります。
- 導入のためのワークショップ+公演で約1時間ほどを予定しています。
- ワークショップ中、簡単に身体を動かしますので動きやすい服装でご参加ください。
- 会場内に授乳スペース、おむつ替えスペースをご用意しております。
- 上演終了後に、写真撮影をしていただける時間がございます。



茨木市市民総合センター(クリエイトセンター)2階・多目的ホール

参加料:1組(子ども1人+保護者1人)1,000円 ※追加1人につき500円

おとな単独(18歳以上)1人 1,000円

定員:各回15組

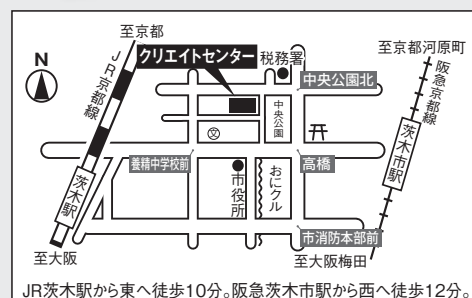
12月4日(水)受付開始

お申込み・お問合せ:茨木市文化振興財団・文化事業係

[電話] 072-625-3055 (10:00~17:00)

[web] www.ibabun.jp

ベビーシアターの
楽しみ方



◆茨木市駅前四丁目6番16号 / 072-624-1726